

令和元年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況・活動状況報告書

玩具から墓場までをテーマに「棺桶製造の調査サンプル制作」
- 榿材等の有効活用を考える-(H28)
地域材(杉・桧・榿材)を使用した「森の柩」製造流通パイロット事業(H30)

団体名: 金子製材株式会社



事業の目的・内容

秩父の森林環境整備には木材の利用拡大は避けられない課題となっています。しかし、今後着工件数の減少が予想される中では一般建築用材の使用だけではバランスの取れた木材利用が進まない事が懸念されています。そこで、秩父地域に生育しているが積極的に使用されてこなかった木材や部位の利用拡大も重要であると考え榿や杉や檜の一部を使用し棺の製造と事業の将来性を研究した。



今までの活動状況

平成31年4月3日～4日に日本橋で行われた展示に参加した折には大手百貨店より問い合わせを頂く等、国産の棺に対する関心の高さを実感してきました。又、改良を重ねながら製造した棺を秩父市や上尾市、鎌倉市、行田市で実際に使用して戴く中で多くの方から高い評価も頂きました。



これからの活動・行事

今後は、2019年12月10日～11日に東京で行われるモクコレに出品するなど広く情報を収集するとともに販売の方法や生産体制、在庫管理、納品方法などの課題を解決し出来る限り早い段階で事業化に移っていきたいと思います。又、一方人以外のペットの利用も考え試験的な生産の検討も始めています。そんな中で将来の販売も考慮し、主に人のみに御使用頂く柩を「銘柩 めいきゅう」、人以外でも使用できる棺を「銘棺 めいかん」という秩父銘仙の銘の字を使った名称登録も行いました。